

学習課題（小学校4年生）

【音楽】 パソコンなどで、見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

<学習内容>



◆せんりつが重なり合う^{うつく}美しさを感じながら、『オーラ リー』
をリコーダーで演奏^{えんそう}しましょう。（教科書 42～43 ページ）

※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou4.html

(1) 『オーラ リー』をきいて、曲の感じをつかみましょう。

※QR コードから^{はんそう}範奏をきくことができます。

(2) 教科書 43 ページで高い「ミ」「ファ」の押さえ方^おをたしかめて音を出してみましょう。

※高い音をふくときは、「ti」と言うようにタンギング^{ティ}を試してみましょう。

※QR コードから、^{えんそう}サミングの演奏の様子^{かくにん}を確認できます。

(3) リコーダー1のパート^{えんそう}を演奏しましょう。

※リコーダーで演奏^{えんそう}する前にドレミ（階名^{かいめい}）で歌ってみましょう。

※息つき（ブレス）の記号^{さんこう}を参考にして、せんりつのまともに^{えんそう}気を付けながら演奏しましょう。

※演奏^{えんそう}の様子は動画^{どうが}でも確認^{かくにん}できます。

(4) リコーダー2のパート^{えんそう}を演奏しましょう。

※演奏^{えんそう}の様子は動画^{どうが}でも確認^{かくにん}できます。

(5) 二つのパートを重ねた演奏^{えんそう}に挑戦してみよう。

※^{はんそう}範奏がきける人は、^{はんそう}範奏に合わせて自分が演奏^{えんそう}しているパートではないパートの音をききながら、重なり合う^{うつく}美しさを感じて演奏^{えんそう}しましょう。

※二つのパートを合わせた^{えんそう}演奏^{どうが}を動画^{かくにん}で確認し、パートの重なり合った^{ひび}響きを確認してみてもよいですね。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・初めて高い音を出すときは、裏穴の開け方（すき間の大きさ）をつかめないことがあります。教科書 43 ページの写真のように親指を動かし、息の強さを調節しながら感覚をつかんでいくようにします。
- ・フレーズの終わりに長くのばす音が多く、フレーズとフレーズを丁寧につなぐように演奏することがポイントです。「息つきを素早くして2分音符が短くならないようにする」など、なめらかに演奏するコツを一緒に見付けてください。

